



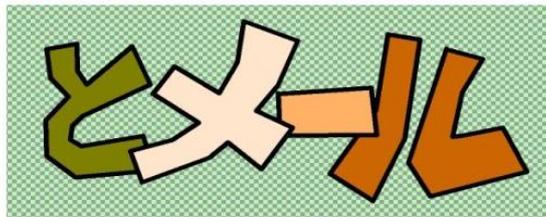
75歳医療費窓口負担2倍化ストップ!!活動推進コース

発行団体

- 全日本年金者組合中央本部
- 中央社会保障推進協議会
- 全国保険医団体連合会事務局
- 日本高齢期運動連絡会

東京都中野区中央5-48-5 シャン
ボール中野504
☎ 03-3384-6654

2022年4月18日発行No11



著名人から運動への賛同のメッセージが寄せられています

「高齢者の皆様は戦後日本の復興を支えてきた方たちです。本来であれば政府は"敬意"を表すべきです。高齢になれば必然的に医療を受ける機会が増えるのは当然です。その負担を軽減するのが本来"敬意"であるはずですが、しかし、政府のやって来たことは真逆で、不十分な年金が主な生活の糧である高齢者に更に負担を強いることでした。今回の医療費窓口負担2倍化などともんでもない政策です。私は医療人の一人として、受診抑制にも繋がるこの負担増の実施阻止に全力を捧げます。」

はじめ歯科医院 山田美香 全国保険医団体連合会・理事、静岡県保険医協会・副理事長

75歳以上の受診時2割負担導入に反対します。

75歳以上の受診時2割負担は、老人の医療保障制度の喪失を意味し、絶対反対です。

1961年国民皆保険制度実現、1963年老人福祉法施行。たが老人の医療の機会は増えず絶えず命の危機にさらされていました。人間社会とは今日よりも明日の暮らしが少しでも好くなる。発展する社会です。二つの制度ができて機能しなければ絵に書いた餅。東京の荒川と文京から起こった老人医療費無料を、の願いは全国の人々の願いとなり1973年に無料制度がスタートしました。1割負担でも年金生活者には重い負担です。2割負担で実質的に老人医療制度は機能なくなり、国民皆保険制度が名ばかりだった1960年代に逆戻りすることを意味し、日本の社会保障制度全体の後退の先鞭を付けることとなります。国全体がいまよりはるかに貧しかった70年代に実現させた制度を、政府と自公の与党が国民から奪い去る。社会の発展にもとる行為を許してはなりません。今の高齢者は70年代の成果を闘い取った人々です。その成果を守ることはその高齢者の義務です。2割負担阻止のための行動の更なる強化を。

日本高齢期運動連絡会結成・日本高齢者大会開催の呼びかけ人の一人 篠崎次男

4・21(木) 全国から連帯の視聴してください 75歳以上医療費窓口負担2割化は中止を!署名提出集会



会場:(屋外)参議院議員会館前

12:00~13:00 予定

国会議員挨拶、各団体訴え、署名提出



【YouTube 配信予定】 <https://youtu.be/j5eEFXhPwoA>